

ヤマドリ

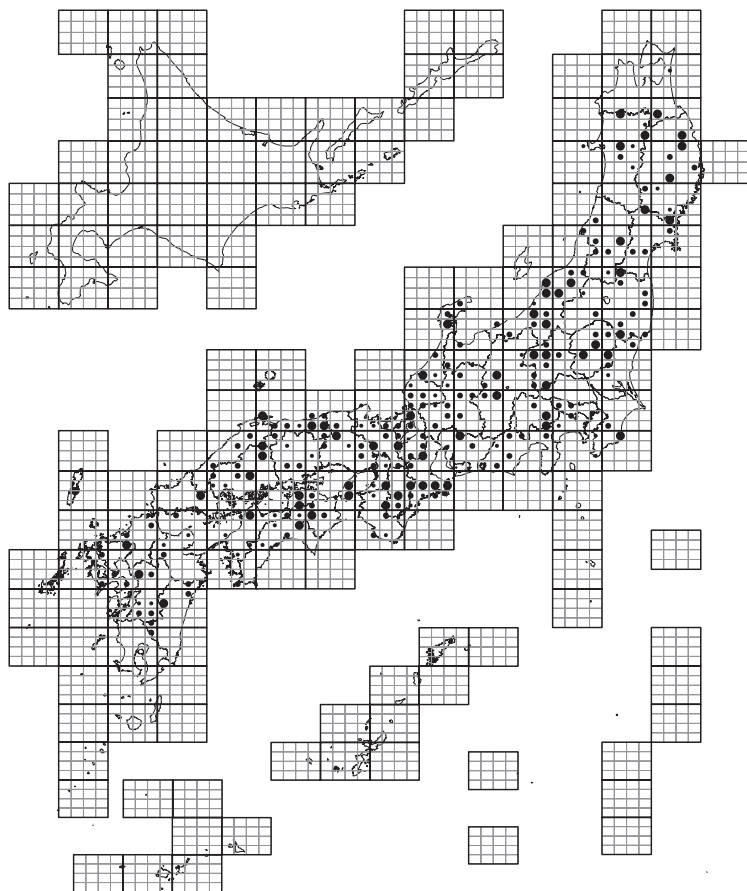
(分類) キジ目キジ科 *Phasianus soemmerringii*

(環境省RDB種) 亜種コシジロヤマドリ(準絶滅危惧)

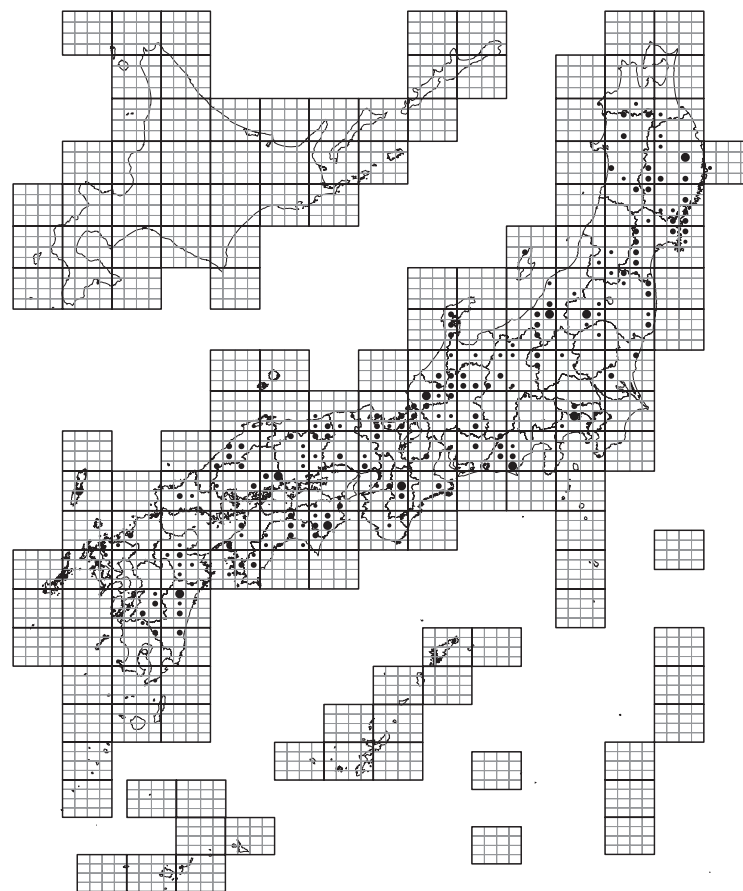
(分布) 本州から九州で留鳥。日本の固有種。

(生態) 低木や林床の茂った森林にすみ、4～6月になわばりを形成して地上で営巣する。7～13卵を産み、雌が24日前後抱卵し、ヒナはふ化後すぐに巣を離れる。植物食だが、昆虫などの無脊椎動物も食べる。非繁殖期は単独で過ごす。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 61 B = 118 C = 60



1997年－2002年 メッシュ数 A = 10 B = 97 C = 85



キジ

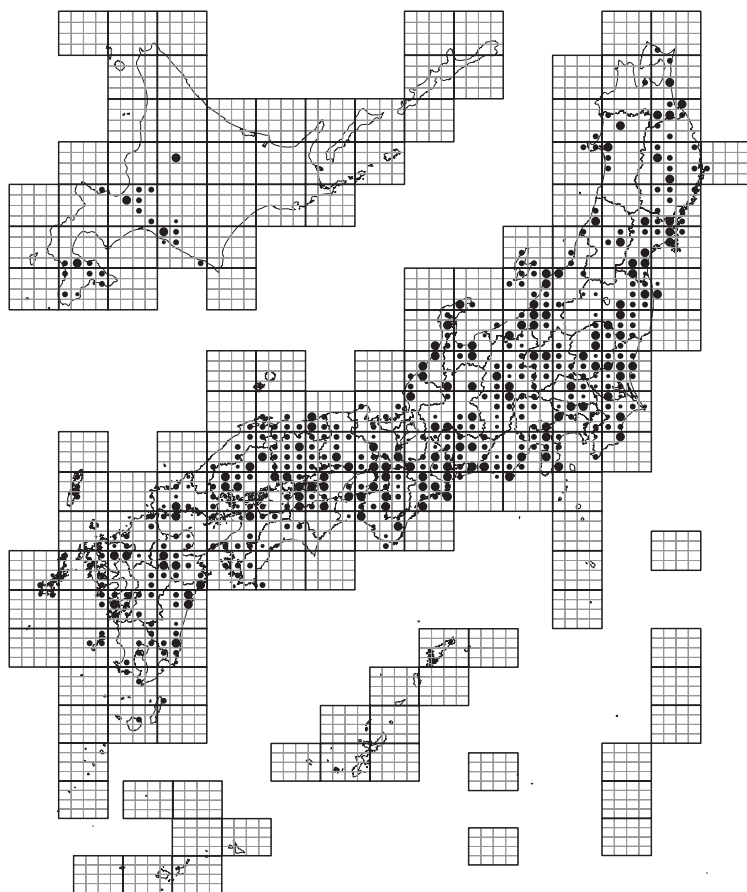
(分類) キジ目キジ科 *Phasianus colchicus*

(環境省 RDB 種) -

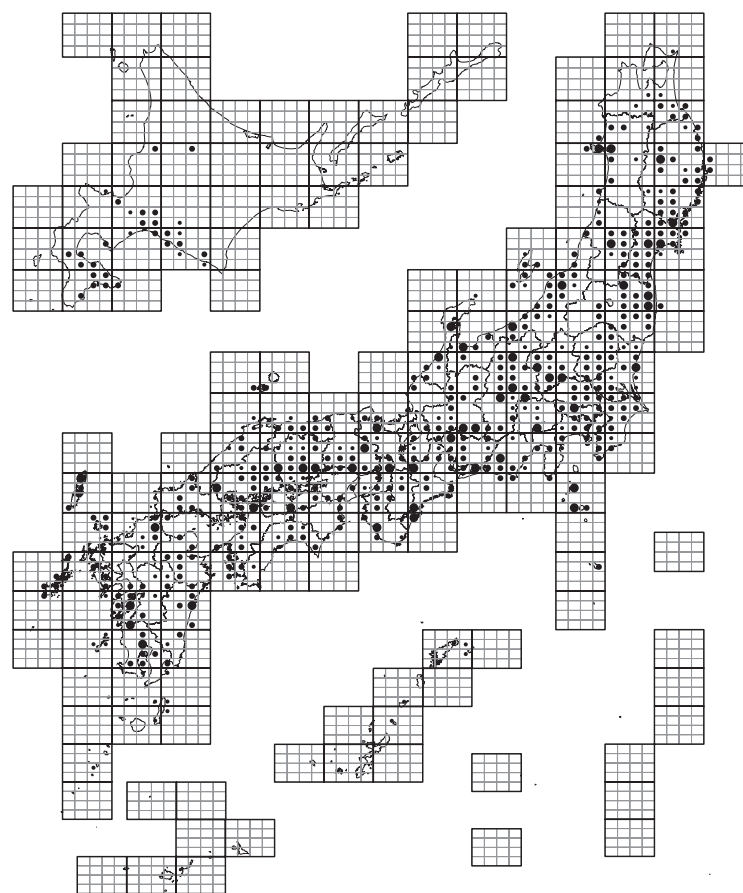
(分布) 本州から薩南諸島まで留鳥。北海道には東アジアに分布する亜種コウライキジが移入されて定着している。対馬にも亜種コウライキジが生息。北半球に広く分布するが、日本産亜種を独立種とする考え方もある。

(生態) 草原に接した林縁などに生息する。4～6月から5～12卵を雌が23日前後抱卵し、ヒナはふ化後間もなく巣を離れる。植物食だが、昆虫やクモ、カタツムリ類なども食べる。移入された大陸産亜種との交雑が進んでいると言われている。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 134 B = 300 C = 67



1997年－2002年 メッシュ数 A = 52 B = 325 C = 118



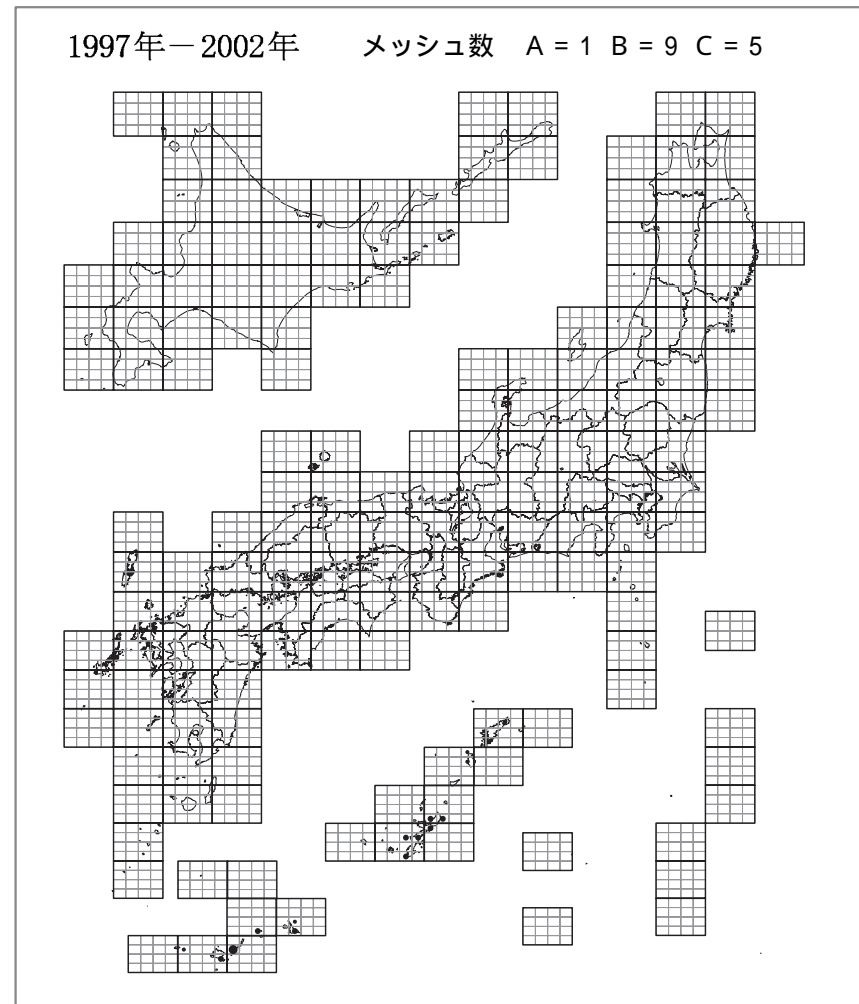
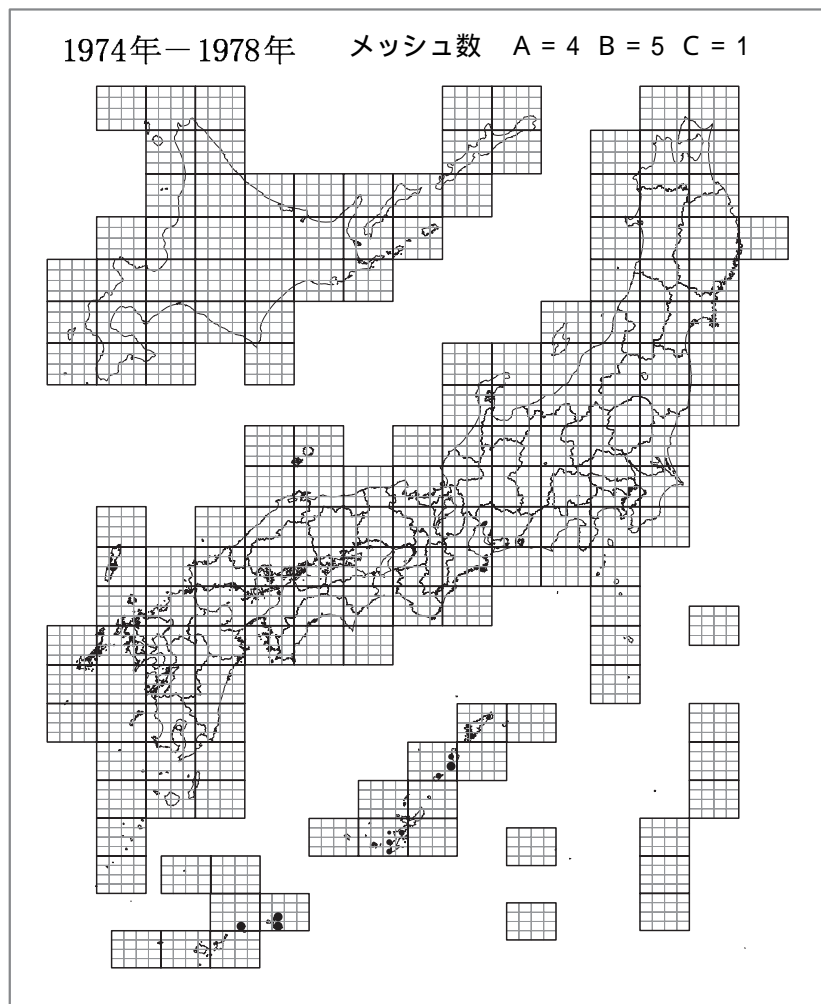
ミフウズラ

(分類) ツル目ミフウズラ科 *Turnix suscitator*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 南西諸島で留鳥。インド、ネパールから東南アジアに広く分布。

(生態) 3～7月に草原や農耕地の茂みの中の地上に営巣する。4卵を雄が12日前後抱卵し、ヒナはふ化後約1か月は雄について歩くがその後独立する。雑食性で、草の実や昆虫などを食べる。



タンチョウ

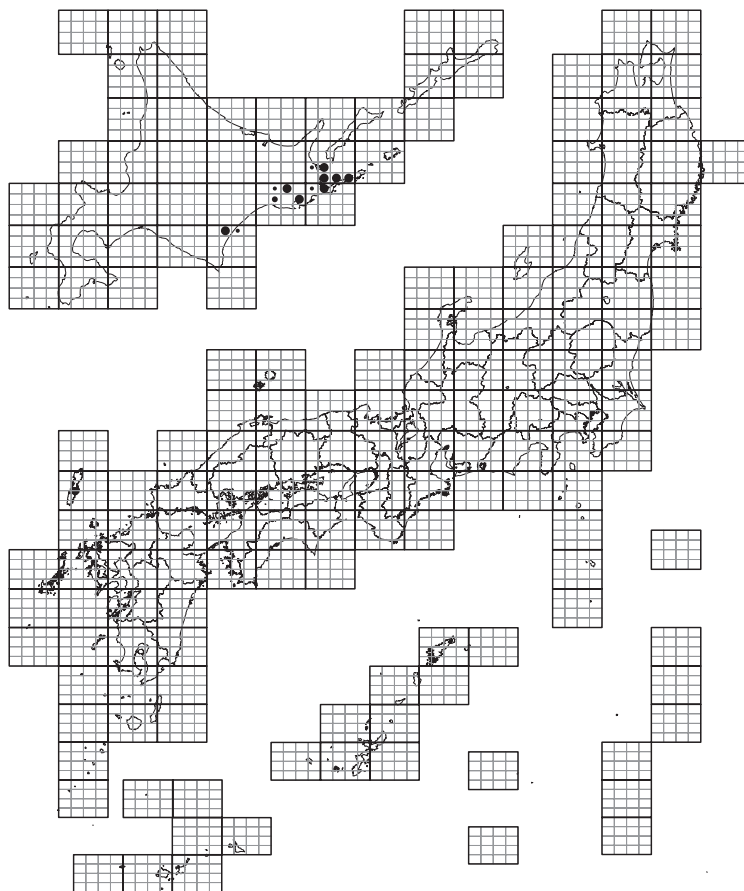
(分類) ツル目ツル科 *Grus japonensis*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

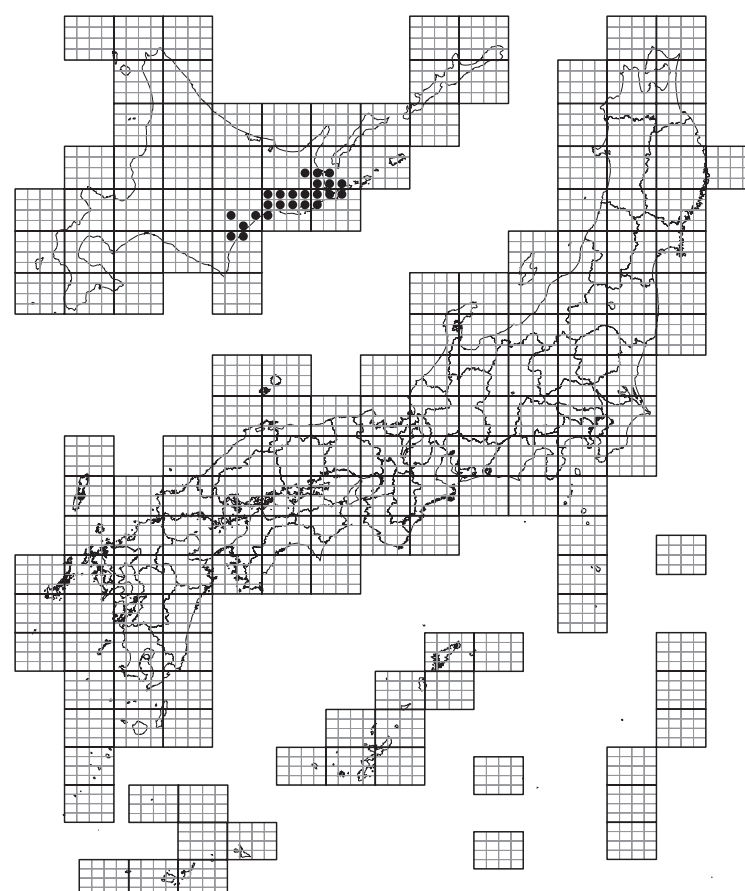
(分布) 道東や国後島で留鳥。極東ロシア、中国で繁殖するものは、中国東南部と朝鮮半島で越冬する。

(生態) 広大な湿地にすみ、2～4月に繁殖なわばりを設けて地上に営巣する。3～5月から1～2卵を雌雄で32日前後抱卵し、ヒナはふ化後数日で巣を離れる。雑食性で、小魚、甲殻類などの動物や穀物、種子などの植物も食べる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 8 B = 1 C = 4



1997年－2002年 メッシュ数 A = 24 B = 0 C = 0



クイナ

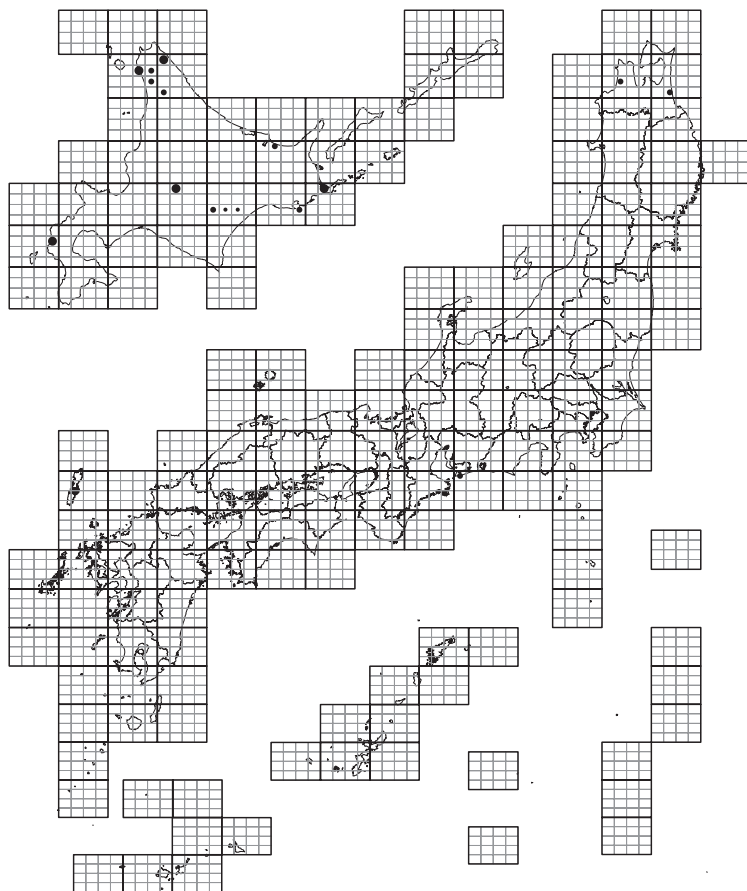
(分類) ツル目クイナ科 *Rallus aquaticus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州北部以北で繁殖。本州中部以南で越冬。ユーラシアの中緯度地域以北に広く分布。

(生態) 湖沼などの湿地に生息し、アシの茂みに営巣する。4～7月から6～8卵を約20日前後抱卵し、ヒナはふ化後すぐに歩き始め、7週間ほど家族群で生活する。雑食性で、小魚、昆虫、小鳥の卵や水草まで食性が広い。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 5 B = 9 C = 2



1997年－2002年 メッシュ数 A = 3 B = 7 C = 4

